

令和6年度第1回宗像市学校給食審議会議事録(会議内容の要点)

日 時:令和6年9月30日(月) 10:00~11:10

会 場:宗像市役所本館3階 第2委員会室

出席者

審議会委員			
梅木 陽子 (福岡女子大学 准教授)	○	占部 由紀 (赤間西小学校保護者)	○
正路 澄代 (玄海東小学校長)	○	水牧 優 (自由ヶ丘小学校保護者)	○
杵形 美奈子 (南郷小学校長)	○	神山 翔伍 (河東小学校保護者)	○
村山 正治 (城山中学校長)	○	上野 結加里 (日の里中学校保護者)	○
古沢 昭一 (河東中学校長)	○	告坂 聖子 (玄海中学校保護者)	○
阿部 龍彦 (大島学園校長)	○		
事務局			
中村教育部長			
(学校管理課) 吉永課長 椎葉参事 浪瀬係長 秋葉			

※議事録については会議内容の要点で作成。

1. あいさつ

2. 委嘱状交付

委員の任期は2年で、令和6年6月1日から令和8年5月31日まで。

3. 自己紹介

4. 議事録の作成について

(1) 議事録の作成方法について

会議内容の要点を記録する方法で行う。

(2) 議事録署名委員について

校長先生の代表の中から一人、保護者の代表の中から一人選出する。順番は名簿順に行うため、今回の議事録署名委員は玄海東小学校長の正路委員、赤間西小学校保護者代表の占部委員にお願いします。

5. 令和6年度宗像市学校給食審議会年間予定(案)について

年3回開催予定で、主な議題としては学校給食費について。第1回は宗像市の概要や給食費の現状について、第2回は給食費の単価についての審議、第3回は答申の予定。

6. 議事(1)

①会長及び副会長の選出

会長に城山中学校長の村山委員、副会長に自由ヶ丘小学校保護者代表の水牧委員が就任。

7. 諮問「宗像市立小学校、中学校及び義務教育学校における学校給食費について」

諮問事項としては、充実した学校給食を実施するための令和7年度の学校給食費について。

8. 議事(2)

①宗像市の学校給食について

②学校給食費改定の状況

③学校給食費改定の指標

④学校給食用物資等価格の年度推移

⑤令和5年度以降の学校給食費の現状

【質問事項】

質問 1	委員：給食費は、今後も市で補助を行っていくのか。 事務局回答：給食の質を維持し、かつ、保護者の方の負担を上げないようにという方向で現時点では考えてはいるが、財源の確保も必要となるため、財政部局等も含めて検討を進めていく予定である。
質問 2	委員：給食回数については、現状のままとするのか。 事務局回答：学習指導要領の改訂時期ではないため、回数は変更しないように考えている。
質問 3	委員：食材費の購入にあたって、今は学校ごとに献立が違うと思うが、数校で同じ食材を購入すれば安く手に入るのではないか。 事務局回答：使用する食材費について最低価格の入札方式にすると、安くなることも考えられるが、例えば入札となったら7業者あるうち、1つの業者しかその月は納入することができないので、他の市内業者のことも考慮する必要がある。

質問 4	委員：現在の物価高騰により、給食の献立をたてるのも難しくなっていると思うが、栄養価の目標値や実施基準などは満たしているのか。 事務局回答：給食の質を落とさないことを目的として市で補助を行っているため、栄養価などは満たしている。
質問 5	委員：市の補助額が1円単位で設定されているが、その算出根拠は何か。 事務局回答：帝国データバンクが食品の値上がり状況などを公表しており、そのデータをもとに算出しているため、1円単位となっている。
質問 6	委員：栄養価は満たしているとのことだが、食育の観点から多少高くても良いものを購入するという考え方もあると思う。子どもたちや保護者などから量が足りないとか、お楽しみ給食の回数が減っているというような声があがってきているか。 事務局回答：デザート類も提供されており、そういった声はあがってきていない。 小学1年生の給食ボランティアとして保護者の方にサポートいただいているが、「非常においしくて久しぶりに給食を食べて嬉しかった」とか、「子どもの成長が近くで見られてうれしかった」という声をいただいている。 また、教育大綱の計画策定にあたって、子どもたちにアンケートをとっていて、その中の一つの項目として自分の生活の中でどういった時に幸せを感じますかという問いがあり、高い割合で「給食がおいしい」「みんなで一緒に給食が食べられてうれしい」といった声があがっていた。
質問 7	委員：食材は登録業者から納入してもらっているということだったが、月単位で単価の見直しが行われているのか、それとも年度単位なのか。 事務局回答：年度単位のものと月単位のものなど納入業者によって異なる。年度単位で見積をいただいているところでも、年度途中で値上げの相談をされることもあるが、その場合は対応している。
質問8	委員：じゃがいも・玉ねぎ・人参について、県給食会と市内業者だと、市内業者の方がかなり高く見えるが、これは地産地消だと多少価格はあがるが、それでもそちらを選んでいるということなのか。 事務局回答：県給食会は、県内の市町村が注文するため、一括購入という形式となり、価格が下がっていると考えられる。市内青果店の場合は、小規模校が使用するような少量であっても配送をさせていただいて、給食の運営には欠かせない存在であり、多少価格が高くても注文している。継続的に安定して給食を運営していくためには必要な存在である。

質問 9	委員：市内で同じ献立であれば、食材を一括購入して安くなるのではないかな。 事務局回答：全校同じ献立とした場合、地場産物の供給が難しくなる可能性がある。 （委員からの意見） 学校側からの意見として、台風などが来た時に食材をどうするかが気になるところである。市内業者は、きめ細かく対応していただいている。一括購入となると、急遽対応が必要な時に、廃棄するとかになるのではないかな。若干高くなっても小回りがきくのはありがたく、市内業者の方にはいろいろ対応していただいているのが現状である。
質問 10	委員：市内同じ献立とせず、1 か月間トータルで全校同じ献立とかにすればよいのではないかな。そうするとスケールメリットを使って、安くする交渉のネタになるのではないかな。 事務局回答：統一献立となった場合は、そのような形がよいと考えている。ただ、市内業者のことについては配慮が必要と考える。

【意見】

委員からの提案	令和4年度の審議会でも給食費の値上げの審議を行ったが、その際に宗像市の給食は非常においしいが、物価高騰ではなく、質を高めるために値上げをしたらどうかという意見を言われた保護者の方がいらっしゃった。市で補助は行っているが、保護者の方は、今の負担額をどのように感じていらっしゃるのか意見をお伺いしたい。
委員意見 I	PTA役員として初めて関わることで、他市の給食センターなどにも見学に行き、色々な方の細やかな配慮で給食がいただけていることに感謝している。 そういった配慮を知らないため、単価だけに目がいて、安い高いという判断になってしまうのではないかな。たくさんの方々のおかげで給食をいただけていることを、保護者の方々にも情報がいけば、もう少し負担してもいいと思ってくれる保護者の方も増えるのではないかな。 質のよいものや地元でできたものを取り入れることで単価が高くなるのであれば、お金だけの話ではなく、もっと前向きに審議できるのではないかな。 子どもが給食の話をしてくれるが、同じクラスの子が給食を残す時に罪悪感がないのが不思議に感じると話していた。感謝する気持ちがあれば、残菜は減って、残してごめんなさいという気持ちも生まれて、食育にもつながるのではないかな。

委員意見2	学校の試食会に参加したことがあるが、栄養教諭の先生方は考え抜いた献立をたてられているなというのを感じて感謝している。
委員意見3	国で無償化の議論があり、市議会でも行われていると思うが、これは国で考えるべきものと思う。ただ、こういった議論が出るということは、やはり給食費の負担が大きいという背景があるのではないか。一般論として、多くの保護者は給食費は安い方がいいと思っているのではないか。 自宅ではなかなか魚をださないが、給食のメニューではたくさんでている。子どもからは、もっと家でも魚を食べたいと言われ、魚のさばき方を勉強したいと思っている。子どもはおかわりを毎日しているくらい給食をよく食べている。 子どもも保護者も含めて、給食のことをもっと知る機会を増やしていけば、もっといいものを提供してあげたいという保護者の声が膨らむのではないか。

【情報提供】

委員	1年生に野菜が苦手な子が多くて、野菜と友達になろうという内容で学園内の栄養教諭の先生に授業に来ていただいた。子どもたちからはキャベツを食べられるようになったよという声があった。このような取り組みも並行しながら、学校として伝えていきたい。
----	--

【事務局から今後の審議の流れについて】

学校給食の食材費は、年々単価が上昇している状況で、特に毎日給食に登場する牛乳や、米、パンなども上昇傾向にある。

令和4年度の審議会で示された次期給食費改定の指標の2ついずれも満たしていることから、今回ご審議いただくこととした。

次回の第2回では、令和7年度の給食費単価について、学校給食の食品構成などに基づき、試算額を示したいと思う。

本審議会では、給食費の単価について、本来あるべき金額をご審議いただきたい。市が行う補助額については、市の予算も関係することから、庁内で審議させていただきたい。

第3回では、審議会としての意見を取りまとめて、答申をお願いしたい。

【次回開催日】

次回開催日は、令和6年11月1日（金）13時からとする。

令和6年10月25日

署名人 正路 澄代

署名人 占部 由紀